

松阪保護司会だより

第17号 令和7年7月1日発行

回
覧

犯罪や非行からの

再出発を支える地域の5つの仕組み

☆ 優しく見守る人がいる

更生保護女性の会



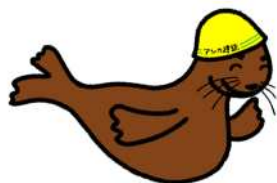
☆ 先輩・友人がいる

BBS会



☆ 働く場所がある

協力雇用主



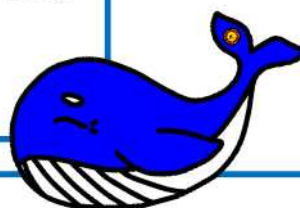
☆ 相談できる人がいる

保護司

犯罪や非行をした人の
立ち直りを地域で支えるボランティアです。犯罪
を予防するための地域活動などにも
取り組んでいます。
松阪市では、57人が活動しています。

☆ 帰る場所がある

更生保護施設



松阪保護司会の主な活動

社会を明るくする運動

黄色い羽根まつさかフェス(旧 松阪地区市民集会)

街頭啓発・・・7月の強調月間に、JR松阪駅をはじめ市内各所で行います。

作文コンテストへの参加依頼(市内小中学校)・・・令和6年度は、12小中学校から131点の参加がありました。

犯罪を予防するための地域活動

薬物乱用防止教室・・・令和6年度は、8小中学校で925人の児童生徒が参加しました。

中学校や関係諸機関との連携・・・中学校と懇談会を行ったり、松阪市や社会福祉協議会等と連携して活動したりしています。

今年は、7月27日(日)
詳しくは裏面



犯罪や非行をした人の立ち直りを
社会の中で見守り、地域のチカラで支えていく。
それが「更生保護」です。

第75回社会を明るくする運動

黄色い羽根まつさかフェス



日時:令和7年7月27日(日)

午後1時～午後4時

場所:クラギ文化ホール

内容:式典、入賞作文発表

メッセージ伝達

映画上映「あん」

入場無料

河瀬直美監督が、ドリアン助川の同名小説を映画化。

2015年5月公開。

物語は、罪を犯して出所し、借金を抱えながら
どら焼き店で働く千太郎(永瀬正敏)の店に、年
老いた徳江(樹木希林)がアルバイトを志願す
ることから始まる。

徳江が小豆に語りかけながらゆでる餡(あ
ん)のおいしさに、店は評判となり繁盛する。
徳江はハンセン病療養所に住み、所内で菓子作
りを学んでいた。

しかし店主は、徳江の曲がった指を見て仙太
郎に命じる。「あの人。やめてもらってちょうだ
い」。

風評が広がったのか、店への客足は遠のき始
める。この状況に徳江は店を去り、千太郎や常
連客の中学生ワカナ(内田伽羅)の前から消え
てしまう。

二人はハンセン病療養所に住む徳江を訪ね、
交流を深めていく。そこにいた徳江は淡々と、自
分も自由に生きたかったと語るのだった。

©2015 映画『あん』製作委員会/COMME DES CINEMAS/TWENTY TWENTY VISION/ZDF-ARTE

主催 第75回”社会を明るくする運動”松阪地区推進委員会

【推進委員】

松阪市

松阪市福祉事務所

松阪市教育委員会

松阪警察署

松阪保健所

松阪市青少年育成市民会議

松阪市社会福祉協議会

松阪市生徒指導連絡協議会

松阪地区生徒指導連絡協議会

松阪商工会議所

松阪市老人クラブ連合会

松阪市住民自治協議会連合会

松阪市民生委員児童委員協議会連合会

松阪市PTA連合会

松阪市こども会連合会

松阪市小学校校長会

松阪市中学校校長会

松阪市飯南地域振興局

松阪市飯高地域振興局

松阪市嬉野地域振興局

松阪市三雲地域振興局

松阪地区更生保護協力雇用主会

松阪更生保護女性の会

松阪市BBS会

松阪保護司会

問い合わせ:松阪更生保護サポートセンター 電話 0598-21-1600(月～金 10:00～16:00)